



北九州空港将来ビジョン ～3つの将来像～

「福岡空港と北九州空港の役割分担と相互補完」の考え方を基本とし、3つの将来像の実現を目指す。

将来像1：九州・西中国の物流拠点空港【物流】

STEP1

ポテンシャルの発揮

東九州自動車道沿線地域等、新たに後背圏となり得る地域を含め、地域の需要を支える空港を目指す。

STEP2

北部九州の物流拠点

施設の拡充や通関体制の整備等、空港機能の強化により、北部九州の物流拠点空港を目指す。

STEP3

九州・西中国の物流拠点

東九州・九州・中国自動車道3方向の結節点の物流拠点化を推進し、九州・西中国までを含む広域的な物流拠点空港を目指す。

将来像2：北部九州の活発な交流を支える空港【交流】

STEP1

ポテンシャルの発揮

24時間空港であるポテンシャルを活かし、福岡空港では取り込めない新たな需要創出を目指す。

STEP2

福岡空港の補完

福岡空港との役割分担・相互補完により、逼迫する福岡空港の需要を受け止める空港を目指す。

STEP3

北部九州の活発な交流を支える

アジアの成長を受け止め、福岡空港とともに、北部九州の活発な交流を支える空港を目指す。

将来像3：航空関連産業の拠点空港【産業】

STEP1

MRJの飛行試験拠点

エプロンや格納庫等、必要な施設整備を行い、MRJの飛行試験の拠点を目指す。

STEP2

MRJの製造拠点

MRJの飛行試験拠点となることで、集積する技術・人材を背景に、MRJの製造拠点を目指す。

STEP3

航空関連産業の拠点

周辺地域も含め、さらに広範な技術・人材の集積を活かし、航空機部品産業や人材育成拠点、航空機整備産業拠点を目指す。